

# 2023年度（令和5年度）事業報告

保育所 あなみ保育園

## 1 施設を取り巻く現状と課題

### （1）事業の種類及び利用定員

- ① 保育事業                      定員60名（あなみ保育園）

### （2）県市町村からの受託、補助事業等

- ① 延長保育事業
- ② 一時保育事業

### （3）施設における公益的な取り組み

- ① グランド開放（月1回）
- ② 共生型子ども食堂（月1回）

### （4）運営方針

安定した運営をめざし、通園バスの安全な運行、SNSを使った広報活動、園庭開放と取組を行いました。合わせて一時保育、見学者の受入れは積極的に行い、入所に繋がる事が出来ています。

保育運営についての取り組みとして、安心安全をテーマに取り組み、不適切保育についての園内研修を行い、子ども基本法に基づいた子どもの権利について学び、日々の保育では、Iメッセージを使って語りかけるように努め、子どもだけでなく、職員間でも精神的安全を高めるように取り組みを行いました。また、Instagramを使った日々の保育の配信から、保護者が当園の保育についての安心へとつながりました。

合わせて、福祉サービス第三者評価を受審し、全65項目中60項目A判定を頂いています。十分でない評価を受けた項目については、改善対応に取り組みます。

施設の強化について、通園バスの安全装置設置を由布市より補助金を頂き行いました。また、保育中や登降園中の園児の飛び出し防止、不審者侵入等の防犯のため、玄関前の門設置工事を実施しました。

## 2 施設の実施策と取り組みの方向性

### (1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる組織づくり

#### ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

|         |  |
|---------|--|
| 実施施策    | Instagramの運用   |
| 現状と課題   | 実際の保育の様子を伝えきれていない。   |
| 取り組み方向性 | 保育の様子を公開することで、保護者も含めてあなみ保育園の保育の良さをアピールしたい。また、安心に繋げ、職員のモチベーションアップにも繋げたい。                                |
| 取組の結果   | 100回投稿<br>行事、日々の保育の様子を投稿し、保護者からは「日頃の様子が見られて、うれしい」と感想をいただく。また、保育士の働く様子も投稿し、保護者の保育への理解が得られた。<br>フォロワー数69 |

#### イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

|         |  |
|---------|--|
| 実施施策    | 行事の見直し   |
| 現状と課題   | 行事の目的（ねらい）の理解が職員ごとに温度差がある。チームとしての取り組み体制の構築までできていない。  |
| 取り組み方向性 | 行事の内容を見直し、子どもの育ちを大切にしたいねらいの共通理解を図りチームとして取り組む体制作りを行う。   |
| 取組の結果   | 行事委員会を中心に、スケジューリングを行い、準備物など担当を割り振り取り組むことで、職員全員で取り組むことが出来た。また、スケジュール表を掲示することで担当している準備物が終わった職員が終わっていない職員の手伝いをするなど協力して取り組む体制ができた。 |

#### ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 保育方針の理解を深める   |
| 現状と課題   | 職員一人ひとりの保育観が先行していることから、チームとしての輪が時折取れないことがある。ディスカッションの不足。                |
| 取り組み方向性 | 園内研修を通して保育方針を職員自身に照らし合わせ共に考えることにより目指す子ども像を共有し、共に育ちあえる職場風土を作る。           |
| 取組の結果   | 保育方針については不適切保育の研修により繰り返し伝えるまでにとどまっている。年度内に園内研修で深めることができなかったため、次年度へ繰り越す。 |

#### エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | ノンコンタクトタイムの確保   |
| 現状と課題   | 計画的にノンコンタクトタイムを入れていたが、昨年度は入れられない月もあった。                            |
| 取り組み方向性 | 書類制作時間の確保を確実にを行うために勤務表作成時に計画を入れる。合わせて土曜保育時に合同保育を行い、時間の有効活用に取り組む。  |
| 取組の結果   | 計画的なノンコンタクトタイムの確保が現状できていないが、土曜日に出席園児が少なくなるので、交代で書類整理の時間を確保して対応した。 |

|  |  |
|--|--|
|  | 時間の割り振りについても副主任を中心に平等に割り振りできるよう事前に計画し取り組むようにし、期限内に処理ができています。 |
|--|--|

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 実施施策    | 計画的年休取得の継続                           |
| 現状と課題   | 年10日年休取得を計画的に出来ている。                  |
| 取り組み方向性 | 今年度も計画的に取得をしていき、リフレッシュすることで保育の充実を図る。 |
| 取組の結果   | 年間計画に予定を入れ、年休が取得できるように取り組んだ。         |

(2) 利用者児の生活を支えるサービスの質の向上

ア 先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 発達指標の研究を深める。  |
| 現状と課題   | 本園独自の発達指標表の作成を行い、それを目安に保育計画に落とし込んでいく事になっていたが、進んでいない。                    |
| 取り組み方向性 | 発達指標を研究し、保育の中で不足している体験（遊び）をどのように取り入れて行くのかを園内研修で取り組み、子ども達の思考力や集中力向上へ繋げる。 |
| 取組の結果   | 発達指標は完成できたが、保育と結び付ける研修ができていないため、次年度へ繰り越す。                               |

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 第三者評価実施   |
| 現状と課題   | 一度も受けていないことから、自園の状態把握ができていない。   |
| 取り組み方向性 | 令和5年度に第三者評価を受け、自園の状態把握をし、保育の向上につなげる。  |
| 取組の結果   | 福祉サービス評価センターとの契約が7月に完了。保護者へのアンケートを9月に配布。令和6年1月に受診し、令和6年4月に受診証明書をいただきました。<br>評価結果：全65項目中 a) できている59項目 b) 十分でない6項目 c) できていない0項目 |

イ 安全安心で快適な暮らしを保障し、利用者児の満足度を高める。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 共感力の向上・Iメッセージでの語りかけの習得                                      |
| 現状と課題   | 慌てていると子どもの想いや目線にあわせず思い込みの声掛けや、負の声掛けをしてしまいがちである。             |
| 取り組み方向性 | 意識をして取り組むことで、丁寧な関わりが出来るようになるので、園内研修でのワークショップを行い、意識して実践していく。 |
| 取組の結果   | 不適切保育の園内研修の中で、保育中に実際にあった言葉かけをみんなで見直しなどし、声掛けの改善が図られた。        |

ウ 施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 実施施策  | グラウンド開放・共生型子ども食堂の実施 |
| 現状と課題 | 月1回の開催に取り組んでいる。     |

|         |  |
|---------|--|
| 取り組み方向性 | 引き続き継続できるように補助金や、寄付など受ける。SNS や市報など広報し、広く知っていただく。   |
| 取組の結果   | <p>グラウンド開放（月1回）<br/>4月（11名）5月（24名）6月（13名）7月（30名）8月（8名）9月（11名）10月（11名）11月（0名）12月（10名）1月（12名）2月（14名）3月（19名）</p> <p>共生型子ども食堂（月1回）<br/>4月（22食）5月（30食）6月（18食）7月（30食）8月（15食）9月（28食）10月（24食）11月（27食）12月（30食）1月（18食）2月（25食）3月（22食）</p> <p>以上の利用状況でした。グラウンド開放は利用者が固定化されてきているが、「助かる」と利用者から声を頂いている。<br/>子ども食堂についても、「助かります」と利用者からの声が聞かれているため、さらに利用者が利用しやすくするため、平日の運営に変更する。</p> |

### （3）安定的で持続的な経営基盤の確立

ア 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 園児の確保に向けた広報活動   |
| 現状と課題   | 庄内町の過疎化による人口減少が進み園児の確保が難しい状況がある。  |
| 取り組み方向性 | 通園バスの運行を充実させ、待機児童の出ている挟間地区の児童が入園に繋がるよう働きかける。  |
| 取組の結果   | 通園バスが利用できることを由布市へ入所時にご案内をしていただくようお願いをし、入所につながるよう努めた。実績利用者数：4月～6月4名利用者あり。7月～9月1名利用者あり。 |

イ 中長期的な視点をもって、持続性の高い経営を行う。

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 実施施策    | 安全強化のため門周辺の改修                   |
| 現状と課題   | 日中門が開いた状態であり、防犯の観点からも安全な状況でない。  |
| 取り組み方向性 | 門及び周辺のフェンスの改修を行い、園児の安全確保の強化を図る。 |
| 取組の結果   | ゲート廻り改修工事：熊野建設と契約締結 10月31日工事完了。 |

ウ 組織内の連携を強化し、強固な組織体制と経営基盤を確立する。

|         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 実施施策    | 業務マニュアルの実用化と見直し                  |
| 現状と課題   | 前年度業務マニュアル作成を行い、完成したが、実用できていない。  |
| 取り組み方向性 | 実際に使用し、見直しを繰り返しながら、組織体制の構築を目指す。  |
| 取組の結果   | 職務基準書の実用化ができないままであったため、次年度へ繰り越す。 |

### 3 目標利用率

| 事業名  | 定員 | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11  | 12  | 1   | 2   | 3   | 平均/月 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 保育事業 | 60 | 92 | 93 | 92 | 90 | 93 | 98 | 98 | 100 | 100 | 102 | 102 | 100 | 97   |

## 4 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

| 名 称              | 購入業者      | 執行額                        | 購入日        |
|------------------|-----------|----------------------------|------------|
| AED              | メディカルエイト  | 352                        | 令和5年5月29日  |
| 通園バス安全装置<br>取り付け | (株)堀文     | 174,9<br>(由布市より補助金 159 千円) | 令和5年5月30日  |
| ゲート廻り回収工事        | (株)熊野建設   | 1,320                      | 令和5年10月31日 |
| ノートパソコン          | (株)古城     | 154                        | 令和6年3月13日  |
| 冷蔵庫(給食室)         | (株)ホシザキ南九 | 379.5                      | 令和6年3月16日  |

## 5 修繕計画(大規模修繕を除く)

(単位：千円)

| 名 称 | 購入業者 | 執行額 | 完了日 |
|-----|------|-----|-----|
| 無し  |      |     |     |

## 6 大規模修繕計画

(単位：千円)

| 名 称 | 請負業者 | 執行額 | 完了日 |
|-----|------|-----|-----|
| 無し  |      |     |     |

# 2023年度（令和5年度）事業報告

放課後児童クラブ あなみ児童クラブ

## 1 施設を取り巻く現状と課題

### （1）事業の種類及び利用定員

- ① 健全育成事業 定員 22 名（あなみ児童クラブ）

### （2） 区市町村からの受託、補助事業等

- ① 送迎支援事業
- ② 処遇改善事業

### （3） 施設における公益的な取り組み

### （4） 運営方針

令和5年度も由布市より放課後児童健全育成事業の委託を受け、小学校1年生から6年生の児童を対象にお預かりし、「安心安全」をテーマに楽しい心地いい居場所作りに取り組みました。

保護者支援として、個別の相談を受けることや年3回大きな活動の際にボランティアとして児童と過ごしてもらい、クラブ生活への理解と、親子の関係作りにもつながりました。

小学校の自由参観日に支援員が学校での様子を見に行く事や、幼保小連絡協議会を通して情報共有をし、小学校とも連携を図った児童への働きかけが出来ました。

クラブでの生活を充実するために、タブレットを購入し調べ物や、動画視聴などに活用することが出来、活動の充実に繋がりました。

## 2 施設の実施策と取り組みの方向性

### (1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる組織づくり

#### ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

|         |  |
|---------|--|
| 実施施策    | インスタグラムの運用   |
| 現状と課題   | 実際の保育の様子を伝えきれていない。   |
| 取り組み方向性 | 保育の様子を公開することで、保護者に保育中の様子を伝える。また、安心に繋げ、職員のモチベーションアップにも繋げたい。 |
| 取組の結果   | 4 4 回投稿<br>行事後の配信となったが、保護者からは様子が見られてうれしいと声を頂いた。フォロワー数 29   |

#### イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 運営についての話し合いの機会を期ごとに行う、                    |
| 現状と課題   | 保育園の会議以外で定期的に話し合う機会を作っていなかった。             |
| 取り組み方向性 | 定期的に会議を持つことで共通理解を図り、チームとして取り組む体制作りを行う。    |
| 取組の結果   | 定期的に会議を行うことで、計画的に運営することが出来た。次年度も引き続き取り組む。 |

#### ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 保育方針の理解を深める   |
| 現状と課題   | 職員一人ひとりの保育観が先行していることから、チームとしての輪が時折取れないことがある。ディスカッションの不足。                |
| 取り組み方向性 | 園内研修を通して保育方針を職員自身に照らし合わせ共に考えることにより目指す子ども像を共有し、共に育ちあえる職場風土を作る。           |
| 取組の結果   | 保育方針については不適切保育の研修により繰り返し伝えるまでにとどまっている。年度内に園内研修で深めることができなかったため、次年度へ繰り越す。 |

#### エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 実施施策    | 計画的年休取得の継続                           |
| 現状と課題   | 年 10 日年休取得を計画的に出来ている。                |
| 取り組み方向性 | 今年度も計画的に取得をしていき、リフレッシュすることで保育の充実を図る。 |
| 取組の結果   | 年間計画に予定を入れ、年休が取得できるように取り組んだ。         |

### (2) 利用者児の生活を支えるサービスの質の向上

#### ア 先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

|         |  |
|---------|--|
| 実施施策    | 第三者評価実施                                |
| 現状と課題   | 一度も受けていないことから、自園の状態把握ができていない。          |
| 取り組み方向性 | 令和 5 年度に第三者評価を受け、自園の状態把握をし、保育の向上につなげる。 |

|       |   |
|-------|---|
| 取組の結果 | 保育園が受診したことで、児童クラブにも生かせる内容は取り入れて行く。今後児童クラブとしての受審を検討する。 |
|-------|---|

イ 安全安心で快適な暮らしを保障し、利用者児の満足度を高める。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 共感力の向上・Iメッセージでの語りかけの習得                                      |
| 現状と課題   | 慌てていると子どもの想いや目線にあわせず思い込みの声掛けや、負の声掛けをしてしまいがちである。             |
| 取り組み方向性 | 意識をして取り組むことで、丁寧な関わりが出来るようになるので、園内研修でのワークショップを行い、意識して実践していく。 |
| 取組の結果   | 不適切保育の園内研修の中で、保育中に実際にあった言葉かけをみんなで検証するなどし、声掛けの改善が図られた。       |

ウ 施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

|         |  |
|---------|--|
| 実施施策    | グラウンド開放・共生型子ども食堂の実施  |
| 現状と課題   | 月1回の開催に取り組んでいる。  |
| 取り組み方向性 | 引き続き継続できるように補助金や、寄付など受ける。SNS や市報など広報し、広く知っていただく。   |
| 取組の結果   | <p>グラウンド開放（月1回）</p> <p>4月（11名）5月（24名）6月（13名）7月（30名）8月（8名）9月（11名）10月（11名）11月（0名）12月（10名）1月（12名）2月（14名）3月（19名）</p> <p>共生型子ども食堂（月1回）</p> <p>4月（22食）5月（30食）6月（18食）7月（30食）8月（15食）9月（28食）10月（24食）11月（27食）12月（30食）1月（18食）2月（25食）3月（22食）</p> <p>以上の利用状況でした。グラウンド開放は利用者が固定化されてきているが、「助かる」と利用者から声を頂いている。</p> <p>子ども食堂についても、「助かります」と利用者からの声が聞かれているため、さらに利用者が利用しやすくするため、平日の運営に変更する</p> |

(3) 安定的で持続的な経営基盤の確立

ア 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 保育内容の見直し  |
| 現状と課題   | 庄内町の過疎化による人口減少が進み近い将来、運営の見直しをする必要がある。                           |
| 取り組み方向性 | 児童クラブの内容の充実を図り、児童が行きたくなるクラブ運営に取り組む。                             |
| 取組の結果   | 児童と話し合いながら活動を進めるように取り組み、児童が「行きたい」と話すと保護者からの声が聞かれた。次年度も引き続き取り組む。 |

イ 中長期的な視点をもって、持続性の高い経営を行う。

|      |               |
|------|---------------|
| 実施施策 | 安全強化のため門周辺の改修 |
|------|---------------|



|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 現状と課題   | 日中門が開いた状態であり、防犯の観点からも安全な状況でない。  |
| 取り組み方向性 | 門及び周辺のフェンスの改修を行い、園児の安全確保の強化を図る。 |
| 取組の結果   | ゲート廻り改修工事：熊野建設と契約締結 10月31日工事完了。 |

ウ 組織内の連携を強化し、強固な組織体制と経営基盤を確立する。

|         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 実施施策    | 業務マニュアルの実用化と見直し                  |
| 現状と課題   | 前年度業務マニュアル作成を行い、完成したが、実用できていない。  |
| 取り組み方向性 | 実際に使用し、見直しを繰り返しながら、組織体制の構築を目指す。  |
| 取組の結果   | 職務基準書の実用化ができないままであったため、次年度へ繰り越す。 |

### 3 目標利用率

| 事業名  | 定員 | 4  | 5  | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 1   | 2   | 3   | 平均/月 |
|------|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 保育事業 | 22 | 95 | 95 | 100 | 100 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 103  |

### 4 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

| 名 称 | 購入業者 | 執行額 | 購入日 |
|-----|------|-----|-----|
| 無し  |      |     |     |

### 5 修繕計画（大規模修繕を除く）

(単位：千円)

| 名 称 | 購入業者 | 執行額 | 完了日 |
|-----|------|-----|-----|
| 無し  |      |     |     |

### 6 大規模修繕計画

(単位：千円)

| 名 称 | 請負業者 | 執行額 | 完了日 |
|-----|------|-----|-----|
| 無し  |      |     |     |